



地域支援事業における事業間連動

令和4年度 地域づくり加速化事業（全国研修）

厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課
地域づくり推進室 室長補佐 田中明美

CONTENTS



目次

- 1 地域支援事業の目指すこと
- 2 事業間連動の重要性
- 3 連動の対象
- 4 取組事例
- 5 振り返り・まとめ

地域包括ケアシステムの構築

高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的の下で、可能な限り**住み慣れた地域**で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援**が一体的に提供される体制の構築

地域支援事業の目的及び趣旨について

- 被保険者が要介護状態又は要支援状態となることを**予防**し、**社会に参加**しつつ、**地域において自立した日常生活を営む**ことができるよう支援することを目的とし、**地域における包括的な相談、及び支援体制、多様な主体の参画による日常生活の支援体制、在宅医療と介護の連携体制、及び認知症高齢者への支援体制**を一体的に推進する。

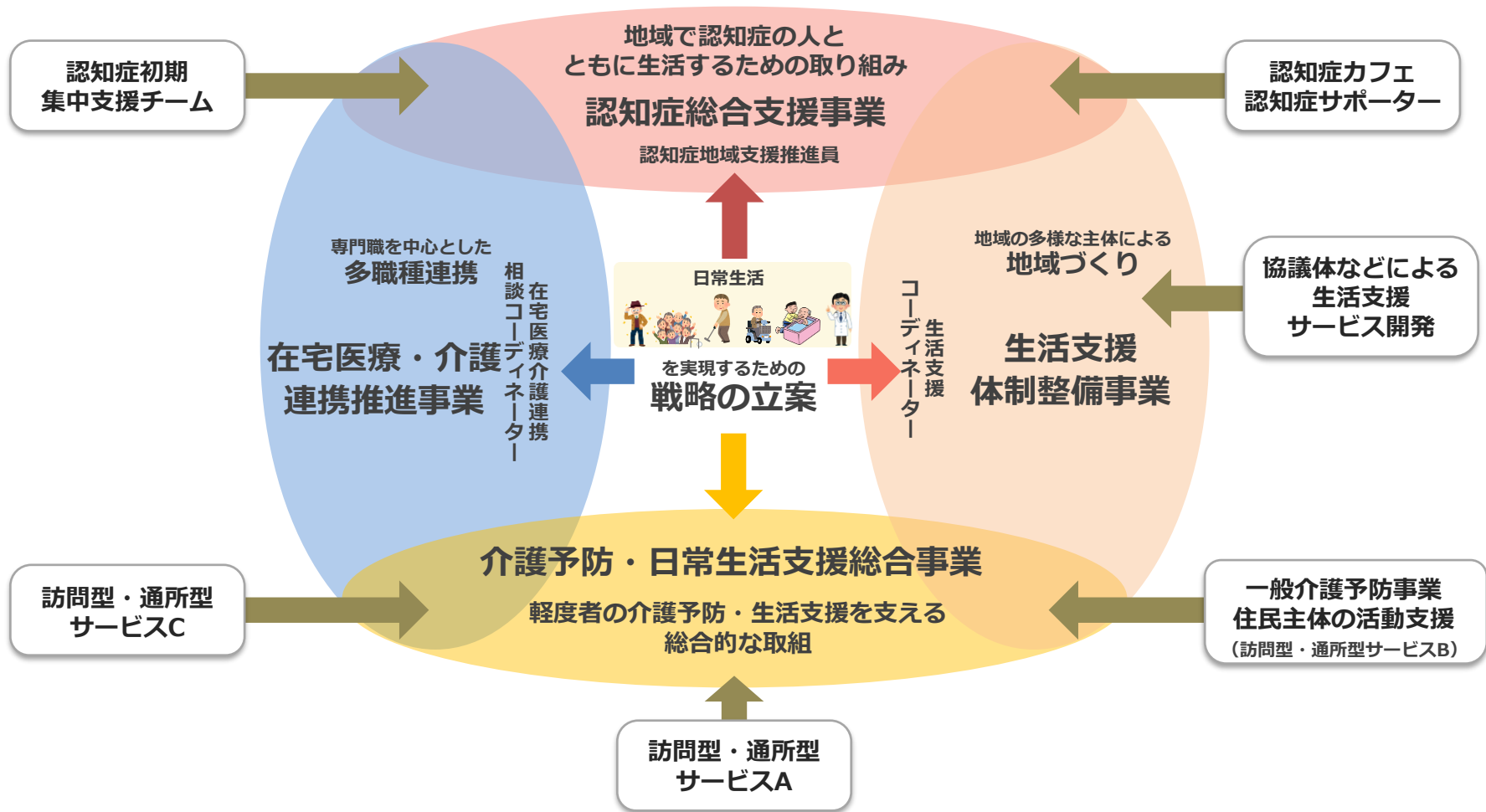
住み慣れた地域での自分らしい暮らし 日常生活



地域支援事業

地域包括ケアシステム

地域包括ケアシステム構築の4構成要素は、地域支援事業の各事業に対応/連動する



出典：平成31年3月 地域支援事業の連動性を確保するための調査研究事業 報告書
三菱UFJリサーチ&コンサルティングより（一部改変）

地域支援事業同士の連動性の要素

住み慣れた地域での
自分らしい暮らし



日常生活



地域支援事業

在宅医療・介護連携
推進事業

認知症支援総合事業

地域ケア会議推進事業

介護予防・日常生活支援
総合事業

生活支援体制整備事業



総合事業

訪問型・通所型サービスA

介護予防把握事業

訪問型・通所型サービスB

介護予防普及啓発事業

訪問型・通所型サービスC

地域介護予防活動支援事業

訪問型サービスD

一般介護予防事業評価事業

その他の生活支援サービス

地域リハビリテーション
活動支援事業

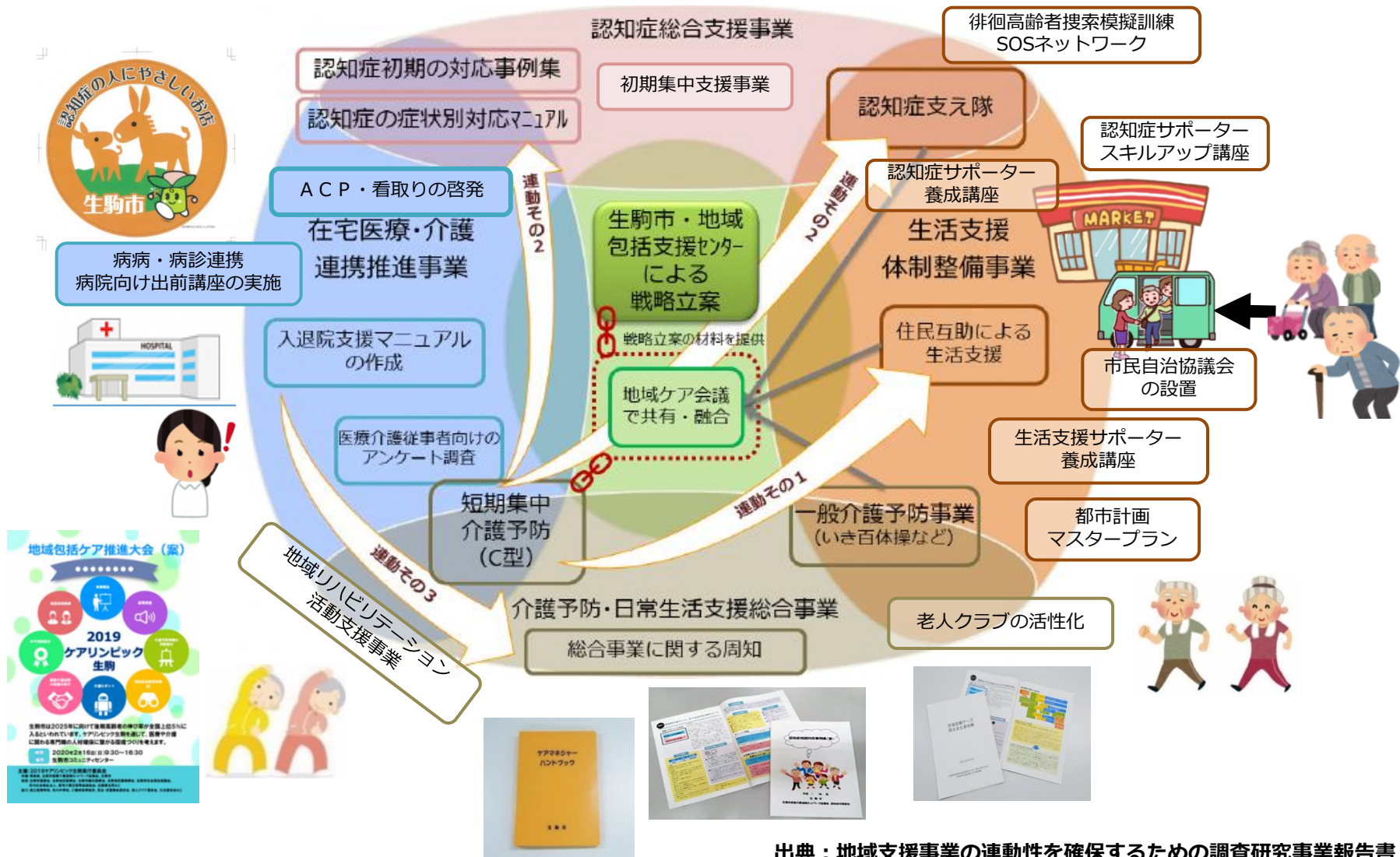
介護予防ケアマネジメント

総合事業の
各事業同士も
「つながり・連動」
することが大切！

地域支援事業の
各事業同士は
「つながり・連動」
することが大切！



生駒市における地域包括ケアシステムの構築に必要な地域支援事業の連動性



出典：生駒市

出典：地域支援事業の連動性を確保するための調査研究事業報告書 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング) 一部改編

地域支援事業と地域資源の連動性の要素

住み慣れた地域での自分らしい暮らし

日常生活



地域のひと

図書館

公園

民生委員

スポーツ団体

空き家

町内会

介護事業所

老人クラブ

子ども会

シルバー人材センター

医療機関

薬局

コンビニ・スーパー

企業・店舗・商店

小・中学校

高校

大学

専門学校

郵便局

銀行

配送業者

ボランティア団体

社会福祉協議会

防犯協会

障害事業所

寺

自治会館

集会所

etc...

みなさんの地域に
どのような資源が
あるか、見渡して
みましょう！



北海道新篠津村（地域課題を地域の資源を活用し解決に向けた挑戦事例）

高齢者支援（介護保険）に
関連する課の「課題」・強み

- ・冬は豪雪地帯なので、高齢者は閉じこもらざるえない環境
- ・介護保険に関係する資源も限られ、新たに拡充できる余力がない
- ・スーパーボランティアの存在がある
- ・春を迎える頃に一定数、虚弱高齢者になっている人が現れる

豪雪地帯ならではの地域課題を住民・
介護事業所・社会福祉協議会の対話により
冬期限定通いの場実証実験につなげる

- ・一つの事業所で抱えられる問題ではないが、1つの事業を複数の関係機関で対応することができるのではないか？
- ・行政におんぶに抱っこという時代ではない。自分たちもできることはしていかないとと思う
- ・実証実験的な挑戦してみたら？

対話を重ねることで
活性化

担当課で打ち合わせ後に
関係機関・者と対話

戦略を練る

- ・まず、実態把握
- ・実態把握の結果報告
- ・関係機関・関係者・住民も含めて豪雪地帯での通いの場をどうやったら、運営を出来るかを考える

庁内連携研修会の企画・運営



◆村では初めてとなる【送迎付き通いの場】

- ①いきいき百歳体操自主グループ
- ②畑ができる体力づくりグループ

実証実験を経て、令和5年度より予算化！



鹿児島県長島町（通いの場の「お宝探し」を庁内関係課・社会福祉協議会とともに）

高齢者支援（介護保険）に関連する課の「課題」

- ・長島GOGO体操の実施箇所数が少なく、拡充が課題
- ・高齢者ニーズの把握が課題
- ・担当課だけでは実態把握は困難



ヘルス部門・社会福祉協議会・役場全体で深掘り

- ・健康づくり、介護予防、地域づくりの観点から関係課ですべての集落にヒアリング
- ・改めて介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を関係機関と共に検証
- ・地元で暮らす職員の強みを活かし、地域の実態把握に足を運ぶ

対話を重ねることで
活性化

担当課で打ち合わせ後に
関係機関・者と対話

- 戦略を練る
 - ・現地ヒアリング
 - ・実態把握の結果報告
 - ・関係機関・関係者・民間企業も含めて地域づくりの対話
 - ・連携できることを考える

庁内連携研修会の企画・運営



集落分析後、ぽっかり地区（居場所なし）の地区を発見。
行政・社会福祉協議会での役割を分担し、ぽっかり地区に働きかけ、地区にマッチする通いの場の創出を目指す！
※連携することで地域の詳細なニーズ把握につながる！



地域支援事業と他課事業/サービスの連動性の要素（庁内連携）

住み慣れた地域での自分らしい暮らし

日常生活



企画政策課	地域コミュニティ推進課	課税課	土木課
広報広聴課	市民活動推進センター	収税課	営繕課
人事課	デジタル推進課	人権施策課	都市計画課
総務課	スマートシティ推進室	人権文化センター	住宅政策室
防災安全課	SDGS推進課	男女共同参画プラザ	拠点形成課
消費生活センター	農林課	環境保全課	学研推進室
契約検査課	商工観光課	清掃リレーセンター	建築課
行政経営課	観光振興室	福祉政策課	みどり公園課
財政課	市民課	障がい福祉課	生活支援課
花のまちづくりセンター	地域包括ケア推進課	介護保険課	
健康課	下水道課	地域医療課	国保医療課
	管理課	事業計画課	etc...

高齢者の暮らしに関する部署は、たくさんあると思います。つながることで互いにwin-winになることを考えてみましょう。



※自治体の規模・施策の進め方によって、課名は多様で、ここに記載のあるのは、あくまでも例示の一つです。

／ 庁内連携を行う際の重要なポイント



- 両課にとってWin-Winな取り組みになること
- Win-Winとは、互いの課題が解決すること



【進め方の例：担当者レベル～組織に発展させる～】

- ① 他課が実施している事業を知る
- ② 連携することで互いに利益・効果があるものを確認する
- ③ つながれそうな事業・施策について情報共有する機会をもうける（打ち合わせ・ヒアリング・アンケート・会議・研修会等）
- ④ 対話を重ね、連携する意義についてその目的や課題を共有する。
- ⑤ どのようにしたら互いの課や事業の強みを掛け合わせ、新たな価値を生み出せるか、そして互いの課題が解決するか、をイメージする
- ⑥ 試行事業を展開し、連携のメリットを経験する
- ⑦ 全庁の取組に広がるよう、庁内連携の場の構築に向け働きかける

✖ 連携 = 仕事が増える

○ 連携 = 互いに有益
(住民・連携課同士)



鹿児島県日置市（地域課題を庁内関係課で議論できる対話の場を設ける）

高齢者支援（介護保険）の 担当課の「課題」

- ・ 集配所まで運ばず、ゴミ出しに困っている高齢者が一定数いる
- ・ 移動支援があれば、介護保険サービスを利用しないでよい人が一定数いる
- ・ 高齢者が活躍できる場がたくさんあれば元気を維持できる人が一定数いる

地域課題を庁内研修の場で共有し、 定期的に庁内関係者で話す機会を設ける

- ・ 介護保険制度ですべて補えると思っていた。集配の方法を検討する場も必要？
- ・ 地域公共交通会議においても具体的な困りごとを提案していくのもよいかも？
- ・ 多世代交流の場や高齢者で何ができるか、もう少し具体になると一緒にできることあるかも？

対話を重ねることで
活性化

担当課で打ち合わせ



戦略を練る

- ・ ヒアリング
- ・ アンケート
- ・ 研修会企画等

庁内連携研修会の企画・運営



庁内連携と若い世代のWOWについて	地域課題	取組の課題と今後の課題
<p>① 高齢者支援（介護保険）の担当課の課題</p> <p>・ 集配所まで運ばず、ゴミ出しに困っている高齢者が一定数いる</p> <p>・ 移動支援があれば、介護保険サービスを利用しないでよい人が一定数いる</p> <p>・ 高齢者が活躍できる場がたくさんあれば元気を維持できる人が一定数いる</p>	<p>・ 介護保険制度ですべて補えると思っていた。集配の方法を検討する場も必要？</p> <p>・ 地域公共交通会議においても具体的な困りごとを提案していくのもよいかも？</p> <p>・ 多世代交流の場や高齢者で何ができるか、もう少し具体になると一緒にできることあるかも？</p>	<p>① 高齢者支援（介護保険）の担当課の課題</p> <p>・ 集配所まで運ばず、ゴミ出しに困っている高齢者が一定数いる</p> <p>・ 移動支援があれば、介護保険サービスを利用しないでよい人が一定数いる</p> <p>・ 高齢者が活躍できる場がたくさんあれば元気を維持できる人が一定数いる</p>

全体研修では、地域包括ケアシステムについての講話と庁内連携においてWIN-WINになりそうな取組事例をご紹介。その後、グループワークを展開！連携＝大変から連携＝互いに有益だということ共有する！



振り返り・まとめ

- 1 地域支援事業の目的を改めて振り返る
- 2 地域支援事業における事業間連動についてイメージする
- 3 地域の資源に改めて目を向け、つながる要素を捉える
- 4 次に地域支援事業と地域資源との連動性をイメージしてみる
- 5 さらに地域支援事業と他課事業/サービスの連動性（庁内外連携）までイメージを広げていく